

V2H-充放電器 SDシリーズ 停電時操作方法三菱自動車 [12V電源ケーブル]

当資料は、自動で自立運転が開始しなかった場合、手で自立運転を開始するための操作方法を説明しています。

以下3条件のいずれかが該当する場合、自動で自立運転が開始されません。

- ・「自立運転切替設定」が無効
- ・停電した時点で充放電コネクタがコネクタロックされていない
- ・V2H-充放電器の電源が入ってから、30分以上継続して接続されていない

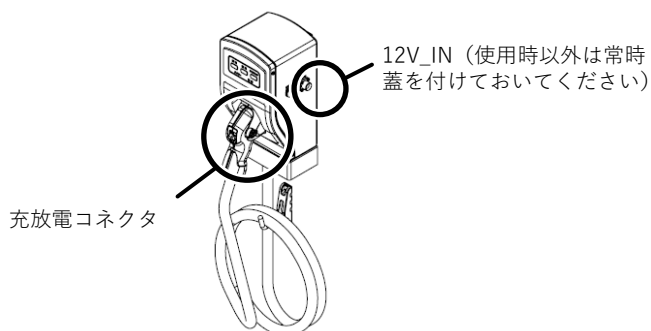
※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書を参照願います。末尾の車種別注意事項もお読みください。

I. 給電開始の手順

CHECK

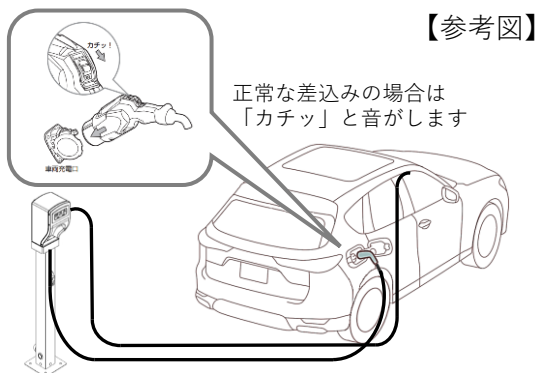
- ・車両の「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・電源OFF状態（メータが消灯している）であること

- 1 「プラグホルダ」右側面の「12V_IN」の蓋を左に回して外し、「12V電源ケーブル」を接続する。



※停電発生時にプラグホルダのLEDが赤く光りますが、停電検知の表示であり、数秒で消えます。また、アプリ、リモコンの「運転履歴」にエラーコード51、52などが残りますが問題ありません。

- 2 車両の「急速充電口」に、「充放電コネクタ」を奥までしっかりと挿し込む。



※差込口の場所及び詳細操作は車両によって異なります。

- 3 車両の「アクセサリソケット」へ「12V電源ケーブル」を接続する。
※アクセサリソケットの位置や仕様は車両により異なります。

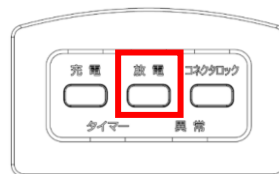
- 4 車両をアクセサリモードにする。

※アクセサリモードは、車両のパワーがOFFでヒーターなどが使えるモードです。切り替え方法等は車両により異なります。(ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを1回押す、など)

- 5 自立運転を開始する。

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・プラグホルダの各LEDが点滅から消灯するまでお待ちください。
- ・消灯後、「放電」ボタンを押します。
- ・自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。



【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「放電開始」をタッチします。
- ・放電を開始すると、本体状態が「自立運転中」になります。



- 6 準備が完了し給電可能となる。
使用する電気設備の電源を入れてください。

- 7 アクセサリモード（車両電源）をOFFにする。
※アクセサリモードOFFの方法は車両により異なります。
(例：ブレーキを踏まずに「パワースイッチ」を2回押すなど)

- 8 12V電源ケーブルを車両、プラグホルダから外す。
※～'18/7製造分のアウトランダーは、自立運転中12V電源ケーブルを接続したままにしてください。

II. 停電終了（復電）時

- ・停電が復旧すると、自立運転は動作を停止し、宅内に商用電源から電力が供給されます。
- ・停電復旧後最大5分間は【異常】以外のLEDが点滅しV2H-充放電器を操作することができません。LEDが消灯したら、V2H-充放電器を操作できます。

※～'18/7製造分のアウトランダーは、自立運転終了後に車両のアクセサリモード（電源）をOFFしてから、12V電源ケーブルを車両、プラグホルダから外してください。

III. 給電停止の手順（停電中に運転停止する場合）

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・「放電」ボタンを押します。
- ・「放電」LEDが点滅します。
- ・自立運転が停止すると、「放電」LEDが消灯します。

【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「停止」をタッチします。

【スマホアプリの場合】

- ・「コネクタロック解除」をタッチすると運転が停止し、コネクタロックが解除されます。
- ※～'18/7製造分のアウトランダーは、自立運転終了後に車両のアクセサリモード（電源）をOFFしてから、12V電源ケーブルを車両、プラグホルダから外してください。
- ※「放電停止充電率」または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。

IV. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

- ・V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、負荷を定格電力以下とすることで自動的に自立運転が復旧します。
- ・ただし、停止から数分（2～3分程度が目安）経過すると自動での復帰は出来なくなります。その場合は下記手順にて復旧準備を実施してください。

1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

2 車両の「急速充電口」から「充放電コネクタ」を取り外す。

3 車両のアクセサリモード（電源）をOFFし、12V電源ケーブルをアクセサリソケットから取り外す。
※アクセサリモードの切り替え方法等は車両により異なります。

4 1.給電開始の手順②～を再度行う。

5 自立運転を再開する。
※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。

V. 給電開始後、車両のバッテリーが尽き運転停止した場合の復旧手順

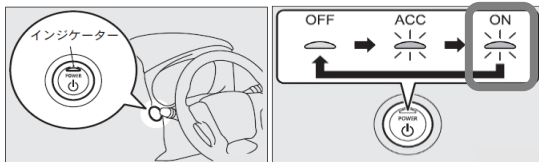
- ・車両のバッテリー容量が放電停止充電率に達すると、V2Hは運転を停止し停電状態となります。ガソリンエンジンを駆動することによりバッテリーチャージが可能な車両の場合、以下の手順で再度宅内への給電が可能となります。

1 車両の「急速充電口」から「充放電コネクタ」を取り外し、再度しっかりと挿し込む。

2 車両のアクセサリモード（電源）をOFFし、12V電源ケーブルをアクセサリソケットから取り外す。

3 「ブレーキを踏みながら」、「パワースイッチ」を1回押して走行モードONにする。

【参考図】

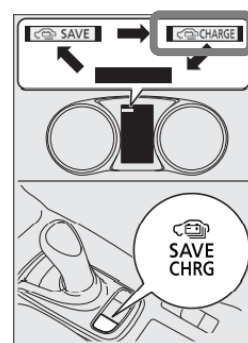


※各モードへの切り替え方法等は車両により異なります。

※右上へ

4 バッテリーセーブ/チャージモードスイッチを2回押し、バッテリーチャージモードにする。

【参考図】



マルチインフォメーションディスプレイ上部のバッテリーチャージモードランプが点灯し、割り込み表示が表示されます。満充電近くなると充電は停止し、割り込み表示が消えます。



※操作方法、ディスプレイ表示等は車両により異なります。

5 充電完了後、復旧準備が完了となる。「1.給電開始の手順」を改めて行ってください。

車種別注意事項

- ※アウトランダーPHEV（～'18/7まで製造分）は、自立運転中12V電源ケーブルを接続したままにしてください。自立運転終了後は、アクセサリモードをOFF（車両システムOFF）してから12V電源ケーブルを外してください。